
庄戸地区話し合い資料

～ 第6回話し合い ～

2013年7月24日

話合い経緯(概要)

着色枠内: 合同委員会の意見

H24.11.15 庄戸四町会合同道路委員会(以下「合同委員会」)より「下越庄戸住民案」の提示

H25.1.15【第1回話合い】

- ・「下越庄戸住民案」の道路構造(車線数・勾配等)を聞き取り
- ・現計画の懸念事項を聞き取り

H25.2.27【第2回話合い】

- ・検討にあたっての設定条件
- ・評価項目と評価の考え方
- ・今後の検討手順 について確認・合意

H25.4.11【第3回話合い】

- ・話合いで出た意見を基に「下越え住民案」を作成・提示
- ・釜利谷JCT部での課題「折込長不足」について意見交換
⇒立体交差とするケースで比較案を作成・・・合意

H25.5.13【第4回話合い】

- ・話合いの進め方について

H25.6.12【第5回話合い】

- ・第3回提示した案に改良を加えた「下越え住民案」を提示
- ・現計画の環境影響と対策について説明
- ・比較評価(意見交換たたき)について説明・意見交換

【第1回話合い】

- ・現計画ありきで検討しないでほしい。
- ・先入観なく合理的客観的に検討すること。
- ・私たちが理のあることは理解する態度で臨む。

【第2回話合い】

- ・評価項目について特段異論はないが、必要に応じて追加できるものと理解。
- ・検討期間「概ね半年」に拘って、話合いを打ち切らないでほしい。

【第3回話合い】

- ・丁寧な資料を作成してくれたと思っている。
- ・課題「折込長不足」を解消するために釜利谷料金所やループランプを東側に移設することは得策ではない。

【第4回話合い】

- ・検討のスピードが遅い。
- ・下越え住民案の車線数は多過ぎるのではないか。

【第5回話合い】

- ・この下越え住民案では比較できない。もっと有効な下越え案を事業者が考えるべき。
- ・新たな下越え住民案も提示していく。
- ・地表面沈下解析の事例を提示してほしい。
- ・地下水調査の計画を教えてください。

説明内容

1. 現計画の環境影響とその対策

(前回の宿題)

- 1 地表面沈下解析の事例
- 2 地下水関連調査計画

2. 現計画と比較案の比較評価(意見交換たたき)

1. 現計画の環境影響とその対策

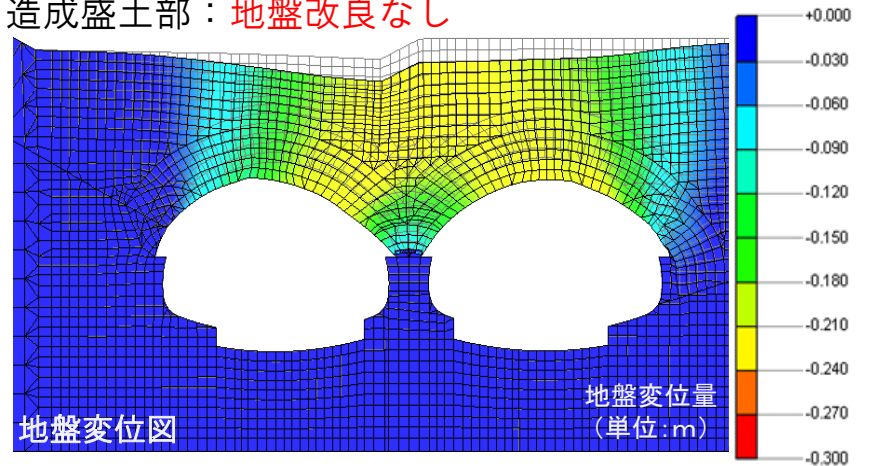
◆トンネル掘削に伴う地盤沈下影響【解析結果】

⇒地盤改良により周辺建物の構造部材に有害な応力が発生しない、かつ常時の使用性に支障をきたさない地盤沈下に対する目安値(※)を満足する事を確認。

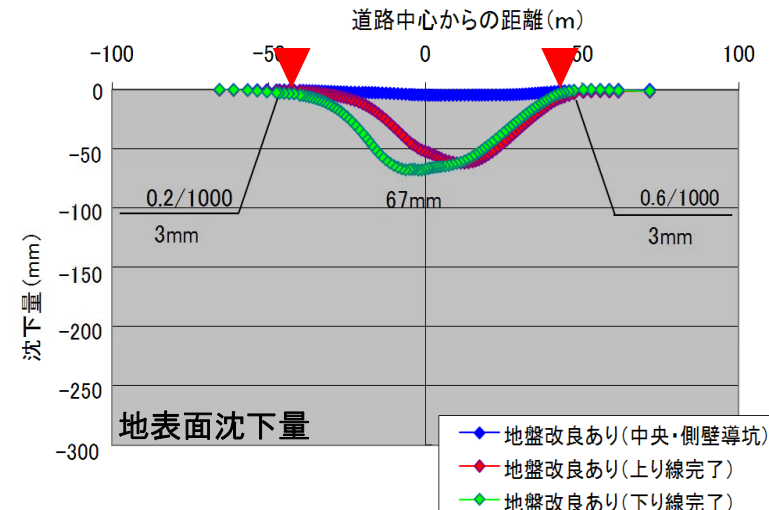
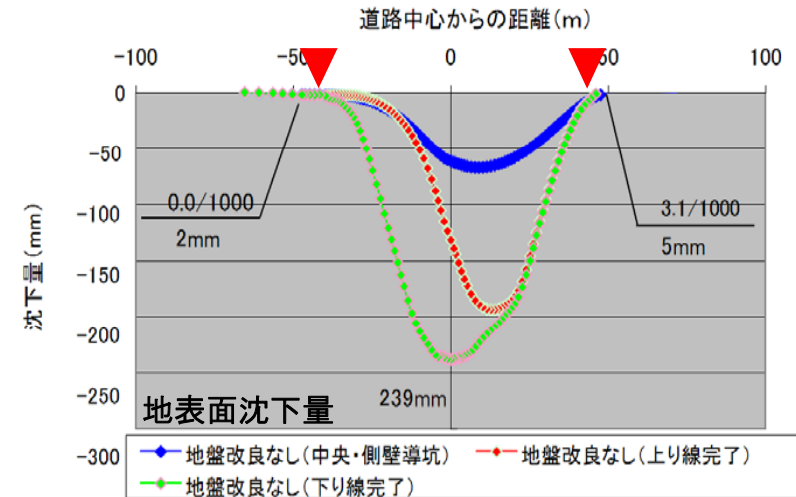
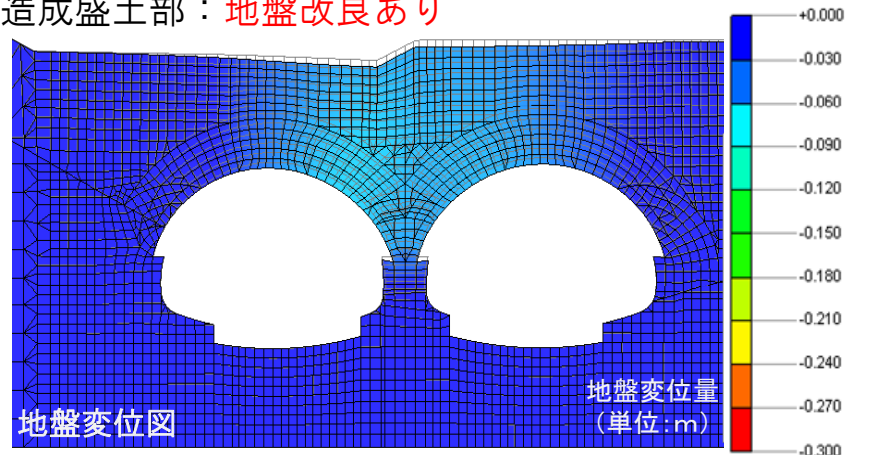
※目安値 = 地表面沈下量:用地境界で25mm以下、
地表面沈下による傾斜角:用地境界で1/1000(rad)以下

数値解析結果 (ケーススタディ)

造成盛土部: 地盤改良なし



造成盛土部: 地盤改良あり



1. 現計画の環境影響とその対策

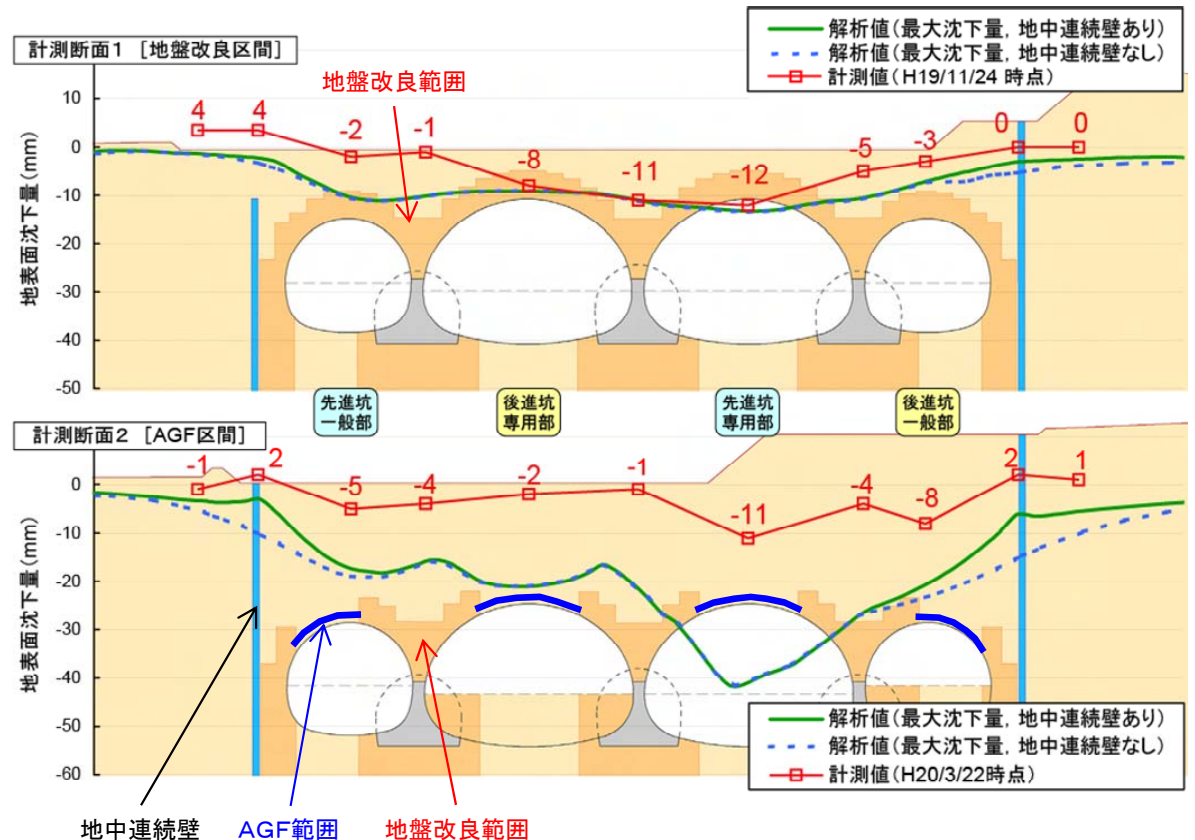
◆類似した施工条件での事例

第二京阪道路 小路トンネル(H22.3供用) ※H22.3トンネル竣工

- ・類似した施工条件(住宅密集地、低土被り(土被り約10m))での施工事例において、地盤改良工、先受け工(AGF)、薬液注入工等の補助工法を組み合わせることにより、地表面沈下の抑制を図っている。(庄戸トンネルの土被り約10m)
- ・地表面沈下量について、計測値は予測解析値より小さくなっている。
- ・供用後の現在も、周辺住宅への被害はない。



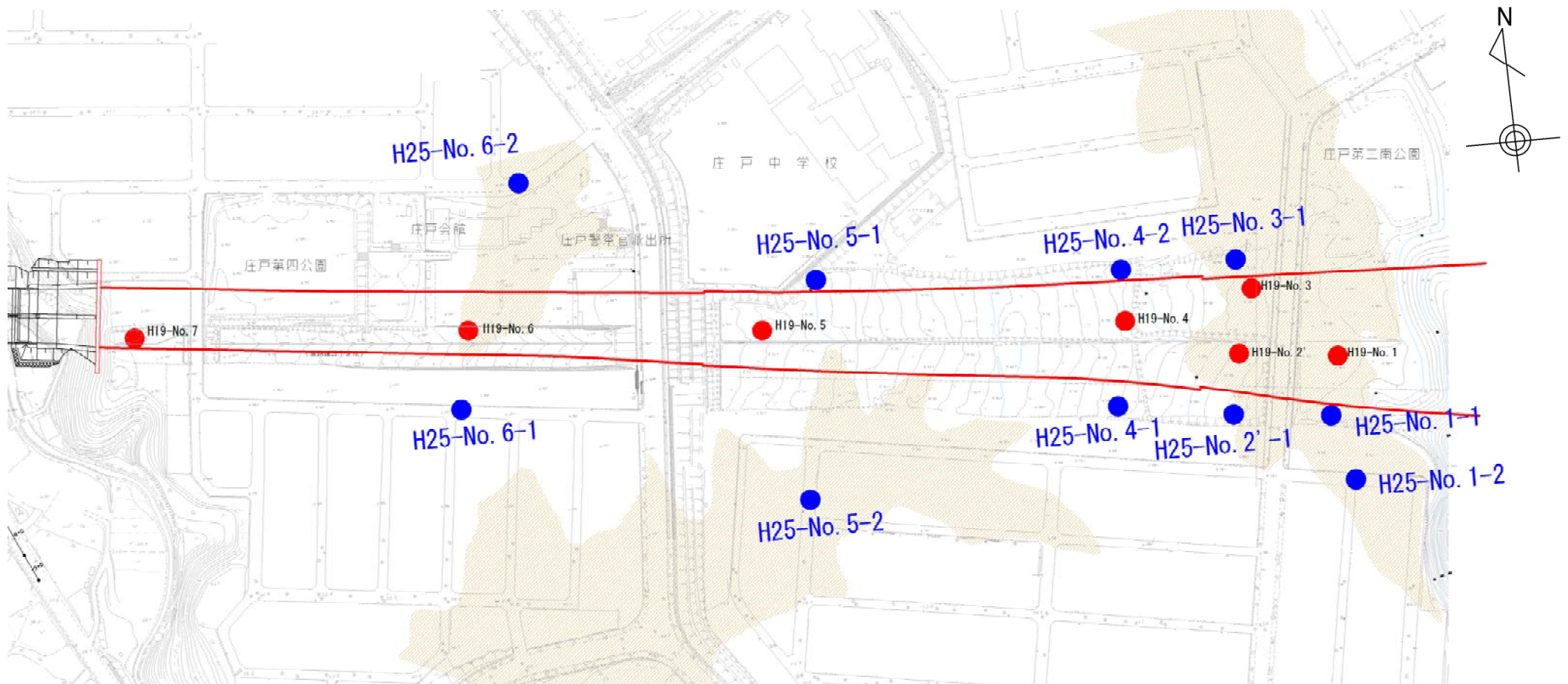
出典：NEXCO西日本HP、大成建設(株)HP



1. 現計画の環境影響とその対策

◆地下水関連調査計画案(4丁目・5丁目)

- ・地下水状況を把握する目的で、10箇所のボーリング調査を計画。
- ・事業用地内＝6箇所、事業用地外＝4箇所。(他地区については検討中)
- ・工事中又は工事完了後においても地下水位観測孔として活用。



●H19～H20調査箇所、●今回計画箇所

2. 現計画と比較案の比較評価（意見交換たたき）

◆比較評価（意見交換たたき）

⇒別紙参照（事業者意見記入済）



end

現計画と下越え住民案の比較評価(意見交換たたき)

※1:検討区間は公田IC東側～釜利谷JCT

※2:現計画から下越え住民案に変更した場合の事項を相対的記載

H25.7.24

評価項目	評価指標	現計画 → 下越え住民案		
		庄戸・上郷地区	他地区	
住環境等への影響	1. 工事中の環境影響	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、振動(建設機械、工事車両) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地上作業が減少することから、工事に伴う騒音・振動が減少 ・シールドトンネルの発進到達立坑が上郷地区から釜利谷地区に移設することから、TN掘削土搬出等に伴う騒音・振動が減少。 ・トンネル化及びトンネル延長増加に伴い排水・避難立坑が必要であり、立坑工事の騒音・振動が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釜利谷JCT東側で地上作業が増加することから、騒音及び振動が増加 ・桂台地区のシールドトンネル回転立坑において、立坑の使用期間が長期化
		<ul style="list-style-type: none"> ・地表面沈下 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル位置の深度化やトンネル断面縮小により、地表面沈下量が減少。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地表面沈下量に大きな変化はない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・同(造成盛土部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦断勾配の変更により造成盛土を回避。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地表面沈下量に大きな変化はない。
	2. 供用後の環境影響	<ul style="list-style-type: none"> ・大気 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル化に伴い地上区間及びトンネル坑口からの排出が生じない 	<ul style="list-style-type: none"> ・釜利谷JCT東側に全方向ランプが集中し断面交通量が増加するため、排出量が増加。 ・公田IC付近及び公田換気所の排出量が増加。 ・釜利谷地区の排出量が増加。 ・最急縦断勾配の適用延長増加等に伴い総排出量が増加。 ・釜利谷JCTのランプ延長が増大し、JCTランプからの排出量が増加。(ランプ延長=現計画:約7.8km・車線⇒下越え約14.1km・車線)
		<ul style="list-style-type: none"> ・騒音 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル化に伴い地上区間及びトンネル坑口からの騒音が生じない 	<ul style="list-style-type: none"> ・釜利谷JCT東側に全方向ランプが集中し断面交通量が増加するため、騒音が増加。
		<ul style="list-style-type: none"> ・振動 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル化に伴い振動が殆ど生じない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釜利谷JCT東側に全方向ランプが集中し断面交通量が増加するため、振動が増加。

現計画と下越え住民案の比較評価(意見交換たたき)

※1: 検討区間は公田IC東側～釜利谷JCT

※2: 現計画から下越え住民案に変更した場合の事項を相対的記載

H25.7.24

評価項目		評価指標	現計画 → 下越え住民案
			庄戸・上郷地区 他地区
安全性・利便性	3. 利用者の交通安全性	・勾配変化点	・本線縦断線形の変更により勾配変化点が新たに生じる。
		・本線とランプの分合流部	・釜利谷JCTの戸塚方向分合流部は地上区間に設置。
		・合流→分流 ・交通流の交差、誘導案内	・釜利谷JCTのランプ交通において、合流後の分岐箇所があり、交通の折込が発生。(合流→分流: 1箇所)
		・トンネル内の防災対策 (トンネル延長 現計画: 約2.6km、 下越え案: 約3.1km)	・トンネル化及びトンネル延長増加に伴い、火災報知機、スプリンクラー、避難施設等の防災対策設備が新たに必要。 ・上郷地区のトンネル化及び縦断線形の変更により、避難施設が必要。
	4. 利用者の交通利便性	・工事に伴う交通規制 (規模、期間)	・釜利谷JCT東側の全方向ランプが集中する工事により、既供用区間の長期間の通行止めや交通規制が生じる。また、釜利谷料金所付近のランプ橋架設時には通行止めが生じる。
		・ランプ延長(1車線換算)	・ランプ延長の増大により、所要時間や燃費消費量が増加。 (ランプ延長=現計画: 約7.8km・車線⇒下越え約14.1km・車線)
施工性	5. 既存構造物への影響	・釜利谷JCT既存ランプ	・釜利谷JCT既存ランプ4本全ての2車線化が必要。橋梁やBOXの拡幅が新たに発生。
		・側道及び交差道路	・上郷地区の既存市道をそのまま使用可能。 ・釜利谷地区の既存の側道の付替・移設が必要。特に、交差道路(BOX)は現状の位置での付替は検討が必要。
		・交差水路	・釜利谷地区の既存の交差水路(BOX)の迂回・移設が必要。
		・送電線及び鉄塔	・釜利谷JCT東側の送電線及び鉄塔の移設が必要。
その他	6. トンネル上部の土地利用	・地域の方々と今後検討	
	7. 用地取得		・釜利谷JCT東側で新たな関係者が増加。
	8. 自然環境	・釜利谷JCT西側で改変が減少	・釜利谷JCT東側で改変が増加。